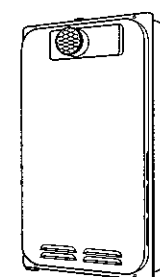


ガス給湯機 [屋外式]

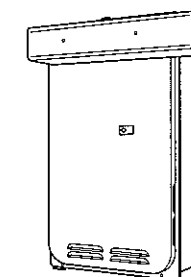
工事説明書 (折り込み)

品番	GZ-16D5・20D5	パイプシャフト扉内設置形
	GZ-16A5・20A5	パイプシャフトアルコーブ設置形
	GZ-16B5・20B5	パイプシャフト後方排気延長形
	GZ-16C5・20C5	パイプシャフト前方排気延長形

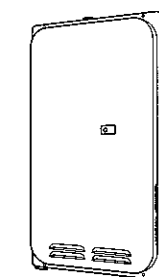
- 別添の工事説明書の品番はGZ-16T5,GZ-20T5,GZ-16U5となっておりますが、上記の品番と共通です。
- ただし、一部内容が異なりますので、折り込みをご参照ください。



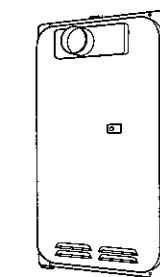
GZ-16D5
20D5



GZ-16A5
20A5



GZ-16B5
20B5



GZ-16C5
20C5

付属品と別売品

	GZ-16D5・GZ-20D5	GZ-16A5・GZ-20A5	GZ-16B5・GZ-20B5	GZ-16C5・GZ-20C5
付属品	—	●排気トッポーク	—	—
	●浴室リモコン ●取付ねじセット ●アース線			
別売品	●PS扉内設置用金枠 (AD-G216C) (16号用) (AD-G217C) (20号用) ●PS扉内設置用取付枠 (AD-G216C-1)		●PS扉直付用金枠 (幅470 mm : AD-G216A),(幅342 mm : AD-G216B)	
	●台所リモコン (GZ-P106) ●PS用リモコンケーブル (GW-P102P-50) ●PS用電源ケーブル (GW-P38-30) ●厚壁スリーブ (AD-3723-1)			

松下電器産業株式会社 ガスシステム事業部
〒639-1188 奈良県大和郡山市筒井町800
電話 (0743) 56-1121

機器の設置

パイプシャフト設置の場合、前扉の上下に各々、下記の開口部を設けてください。

品番	開口部面積
GZ-16D5,20D5 GZ-16A5,20A5 GZ-16C5,20C5	100 cm ² 程度
GZ-16B5,20B5	100 cm ² 程度 自治体によっては「パイプシャフトの正面の面積の5% または500 cm ² の大きい方とする」地域もあります。

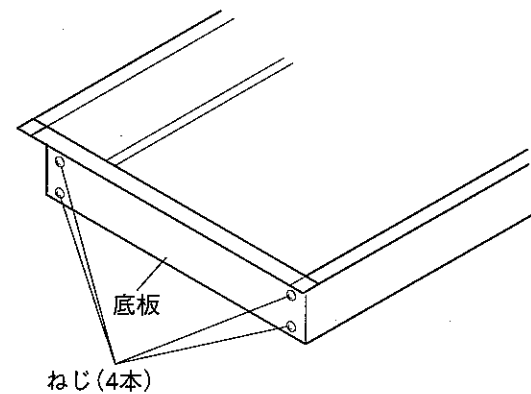
●パイプシャフトへの設置は自治体によって独自に規定している場合があるため、確認してください。

GZ-16D5, 20D5の場合

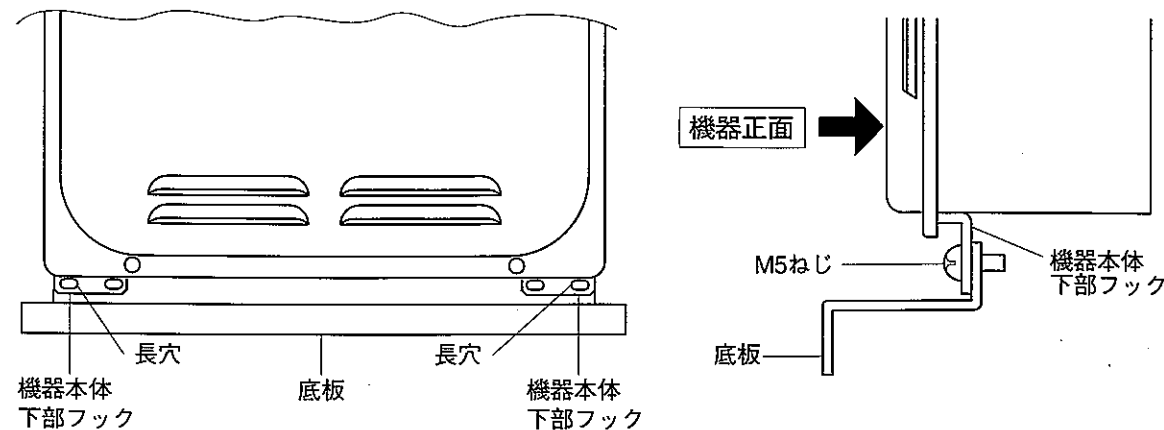
この機器の設置方式は、パイプシャフト設置方式の扉内設置用です。
扉内設置用金枠(AD-G216C)16号用、(AD-G217C)20号用(別売品)・扉内設置用取付枠(AD-G216C-1)(別売品)を使用し、取り付けてください。
工事をされる時は、この折り込みと別添付の工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事を行なってください。

■取付手順

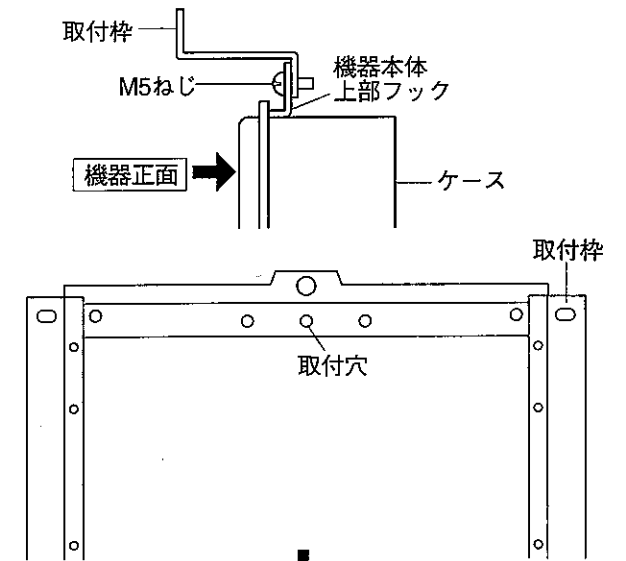
①取付枠の底板を取り外してください。
(ねじ4本)



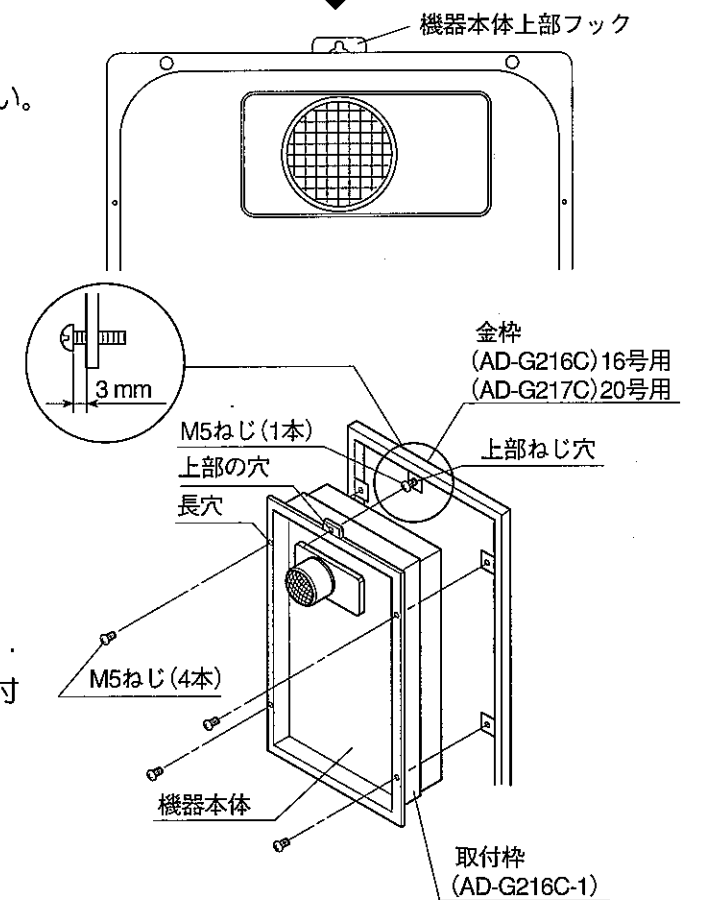
②「①」で取り外した底板を機器本体下部のフックにM5ねじ(2本・付属品)で取り付けてください。
●フックの長穴の外側を使用してください。(左右各M5ねじ1本ずつ)



③取付枠を機器本体上部より差し込み機器本体上部フックにM5ねじ(1本・付属品)で取り付けてください。
●取付枠下部を広げるようにして差し込んでください。

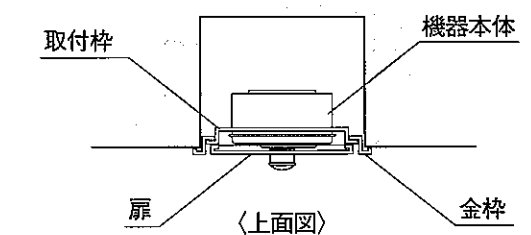


④底板を取付枠にねじ(4本)で締めつけてください。



■金枠への取付

①金枠上部のねじ穴にM5ねじ(1本付属品)を3mm程度浮かして取り付けてください。
②取付枠の上部の穴を金枠上部に取り付けたM5ねじに引っ掛けてください。
③取付枠の長穴と金枠のねじ穴をM5ねじ(4本・付属品)で締め付け、金枠上部のねじも締め付けてください。

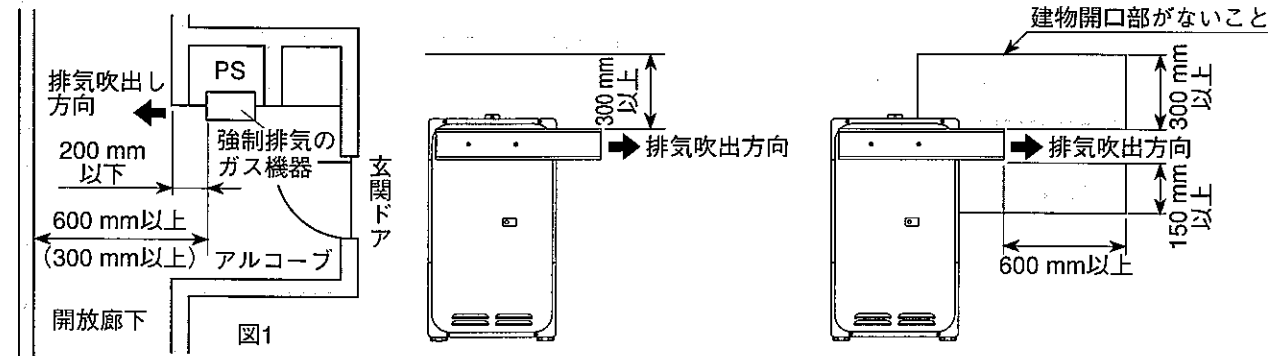


機器の設置

GZ-16A5, 20A5の場合

この機器の設置方式は、パイプシャフト設置方式のアルコーブ設置用です。工事をされる時は、この折り込みと別添付の工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事を行なってください。この機器は排気吹き出し口が開放廊下の壁面から200 mm以下になるよう、排気吹き出し口を開放廊下に向けて設置してください。

●図1の寸法600 mm以上は、可燃材料からの離隔距離です。また()内は、防熱板を取り付けた場合および「不燃材料で有効に仕上げをした建築物の部分など」との寸法を示します。

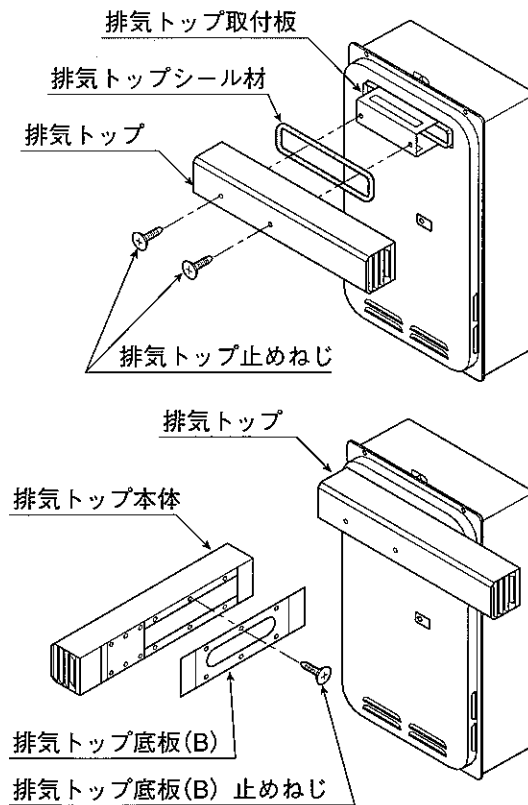


■取付手順

- 排気トップ取付要領(機器を設置後取り付けてください。)
- ①機器に取り付けられている排気トップ止めねじ2本を外してください。
 - ②排気トップシール材を排気トップ取付板をくぐらせ、フロントカバーに接触するところまで入れてください。
 - ③排気トップを排気トップ取付板に入れ込んでください。
 - ④排気トップ止めねじにて排気トップを固定してください。

■排気方向の変更について

- 標準排気方向は正面向かって右側排気になっています。左側排気にしたいときは次の要領で行なってください。
- ①排気トップ止めねじ(2本)を外し、排気トップを取り外してください。
 - ②排気トップ底板(B)止めねじ(6本)を外し、排気トップ底板(B)を180°反転して排気トップ本体に取り付けてください。
 - ③排気トップの排気口を左側にして、機器に取り付けてください。



GZ-16B5, 20B5の場合

この機器の設置方式は、パイプシャフト設置方式の後方排気延長用です。工事をされる時は、この折り込みと別添付の工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事を行なってください。

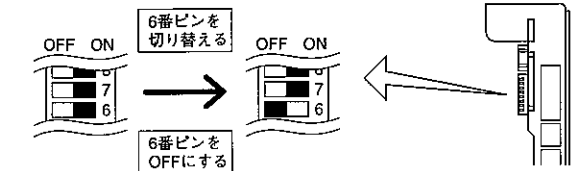
■排気筒設置前のお知らせ

- この機器には排気ダンパーはありません。排気筒の延長長さに応じて排気ダンパーを変える必要はありません。
- 排気筒の延長長さは「最大7 m×3曲がり以下」としてください。ただし排気トップ吹き出し口の曲がり数と機器から1つ目の曲がりは曲がり数には数えません。
- この機器は、排気筒の延長長さによりファン回転数の切り換えが必要です。排気延長長さ曲がり数によって、下表に従って電装基板内のスイッチを切り換えてください。出荷時は、延長が長い方に設定されています。

例：延長長さが3 m2曲がり(3 m2曲がり含まない)より短い場合は、下記要領でスイッチを切り換えてください。

- ①電源(100 V)をOFFする。
- ②電装基板内の設定切換スイッチ(SW1)の6番ピンを操作する。

スイッチSW1 (電源は必ずOFFにして行ってください。)



【ご注意】

- (1)ピンを操作するときは、必要なピン以外は絶対に動かさないようにしてください。
- (2)曲がり数と直管長さの関係は右表を参照してください。

曲がりと直管長さの関係

曲がり数	延長長さ					
	6 m以上	5 m以上	4 m以上	3 m以上	2 m以上	1 m以上
3曲がり	6番-ON	ON	ON	ON	ON	ON
2曲がり	6番-ON	ON	ON	ON	OFF	OFF
1曲がり	6番-ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

GZ-16C5, 20C5の場合

この機器の設置方式は、パイプシャフト設置方式の前方排気延長用です。工事をされる時は、この折り込みと別添付の工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事を行なってください。

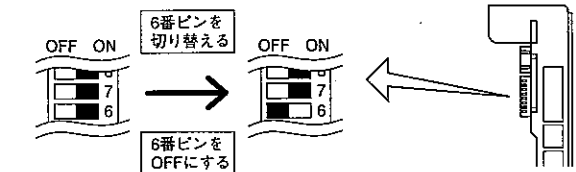
■排気筒設置前のお知らせ

- この機器には排気ダンパーはありません。排気筒の延長長さに応じて排気ダンパーを変える必要はありません。
- 排気筒の延長長さは「最大7 m×3曲がり以下」としてください。ただし排気トップ吹き出し口の曲がり数と機器から1つ目の曲がりは曲がり数には数えません。
- この機器は、排気筒の延長長さによりファン回転数の切り換えが必要です。排気延長長さ曲がり数によって、下表に従って電装基板内のスイッチを切り換えてください。出荷時は、延長が長い方に設定されています。

例：延長長さが3 m2曲がり(3 m2曲がり含まない)より短い場合は、下記要領でスイッチを切り換えてください。

- ①電源(100 V)をOFFする。
- ②電装基板内の設定切換スイッチ(SW1)の6番ピンを操作する。

スイッチSW1 (電源は必ずOFFにして行ってください。)



【ご注意】

- (1)ピンを操作するときは、必要なピン以外は絶対に動かさないようにしてください。
- (2)曲がり数と直管長さの関係は右表を参照してください。

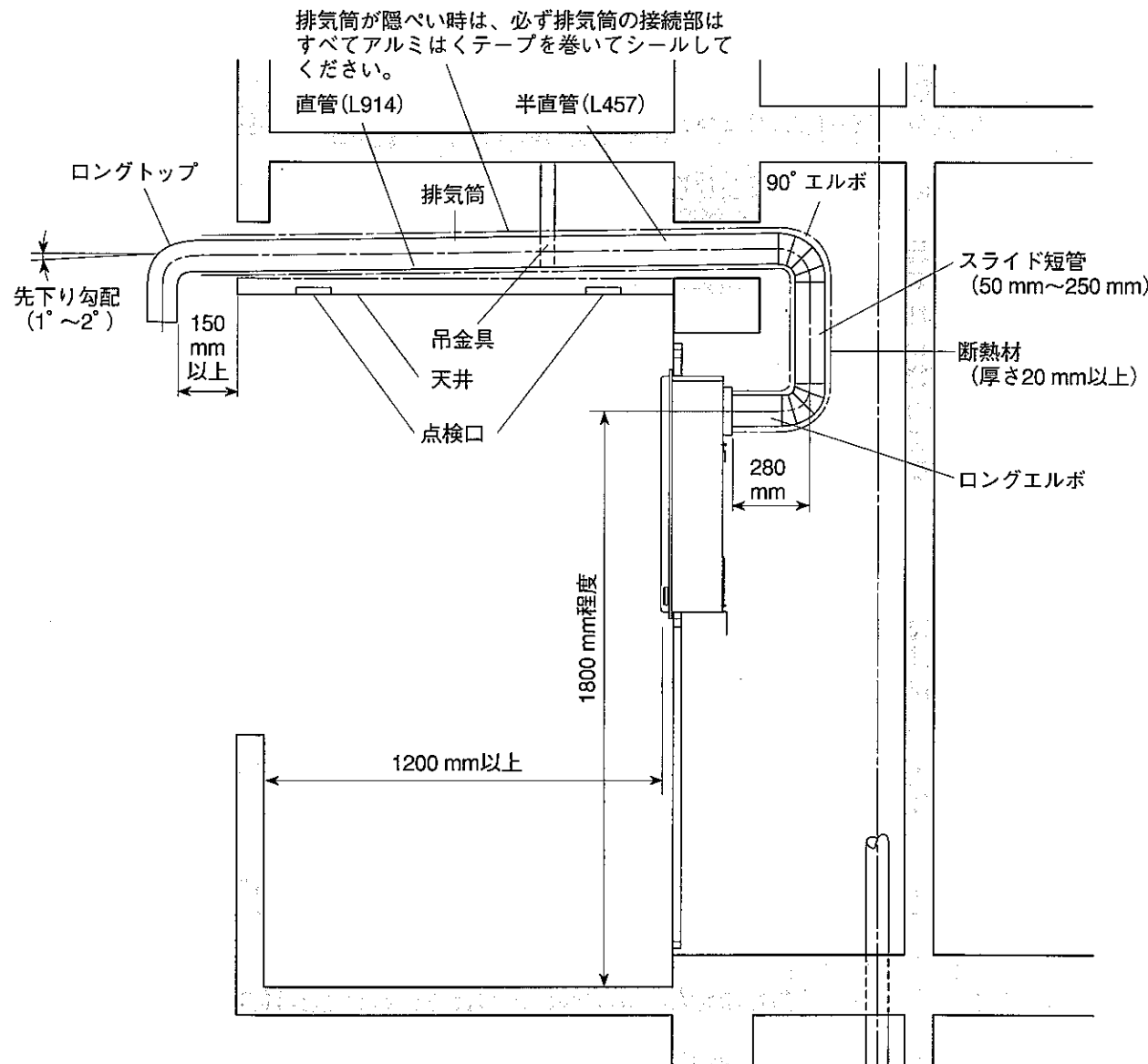
曲がりと直管長さの関係

曲がり数	延長長さ					
	6 m以上	5 m以上	4 m以上	3 m以上	2 m以上	1 m以上
3曲がり	6番-ON	ON	ON	ON	ON	ON
2曲がり	6番-ON	ON	ON	ON	OFF	OFF
1曲がり	6番-ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

排気筒の設置

■排気筒設置参考図

〈GZ-16B5の場合〉



1. 排気筒設置工事をする場合、標準排気筒セット(システム部材センター扱いAD-20008・0)を使用してください。
2. 排気延長は7 m3曲がりまでとしてください。排気延長の場合下記排気延長用部材(システム部材センター扱い)を使用してください。

AD-20008・0

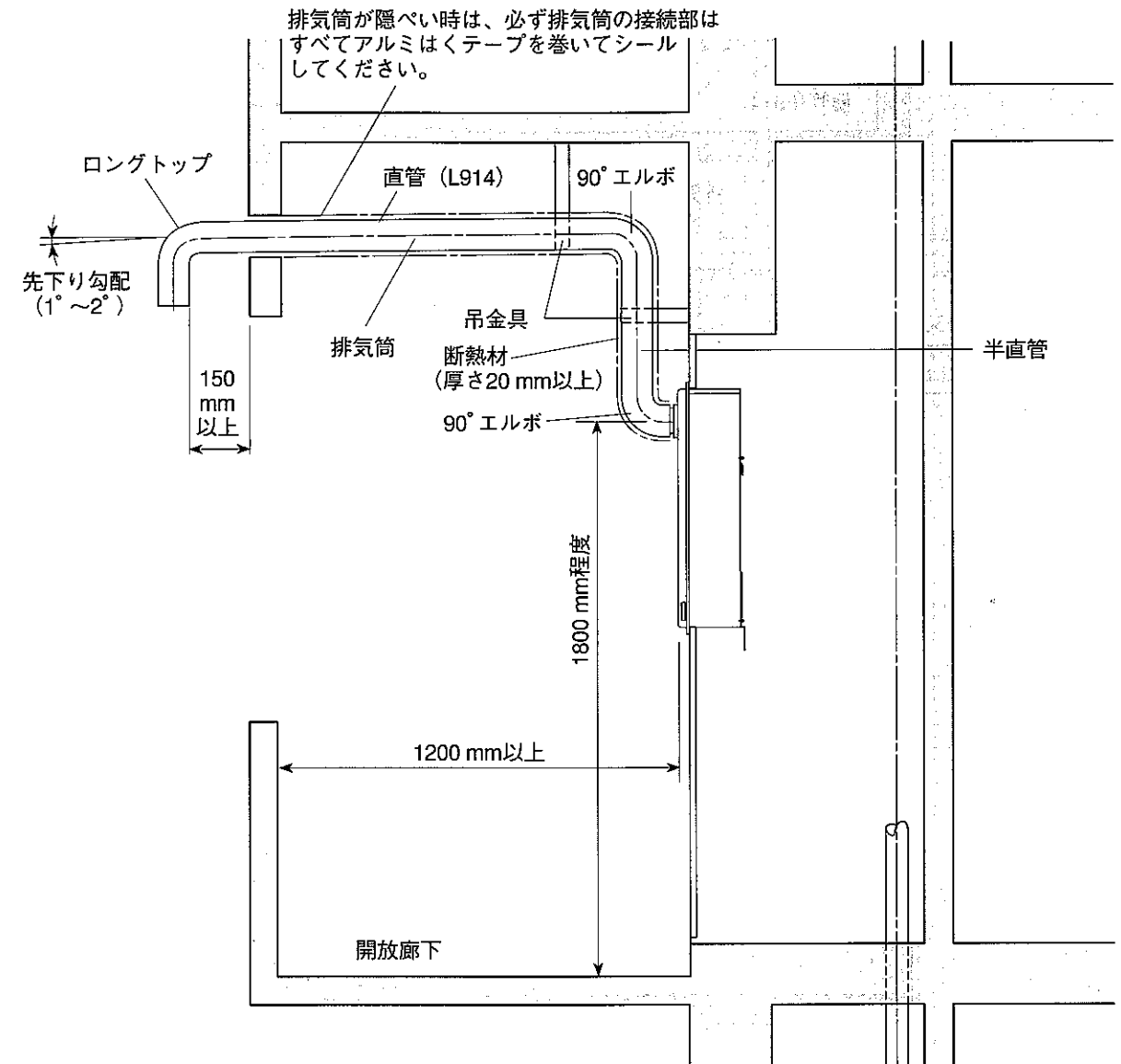
No.	部 品 名	寸法・仕様	個数
1	排気ロングトップ(断熱材付き)	φ80×500×145	1
2	ロングエルボ	φ80×280×220	1
3	90°エルボ	φ80×120×120	1
4	直 管	φ80×914	1
5	半 直 管	φ80×457	1
6	短 管	φ80×200	1
7	メガネ板(断熱材付き)	φ80×φ177	1組
8	吊 り 金 具	φ330~600	1
9	アルミはくテープ	幅30×2 000	1

φ80用排気延長用部材

部 品 名	寸法・仕様
直 管	AD-20008S(φ914)
半 直 管	AD-20008S1(φ457)
90°エルボ	AD-20008L
メガネ板	AD-20008G
吊 り 金 具	AD-20008Z
断 熱 材	AD-T1508

システム部材センター：TEL(06)6949-2272

〈GZ-16C5の場合〉



1. 排気筒設置工事をする場合、標準排気筒セット(システム部材センター扱いAD-20008・0)を使用してください。
2. 排気延長は7 m3曲がりまでとしてください。排気延長の場合下記排気延長用部材(システム部材センター扱い)を使用してください。

AD-20008・0

No.	部 品 名	寸法・仕様	個数
1	排気ロングトップ(断熱材付き)	φ80×500×145	1
2	ロングエルボ	φ80×280×220	1
3	90°エルボ	φ80×120×120	1
4	直 管	φ80×914	1
5	半 直 管	φ80×457	1
6	短 管	φ80×200	1
7	メガネ板(断熱材付き)	φ80×φ177	1組
8	吊 り 金 具	φ330~600	1
9	アルミはくテープ	幅30×2 000	1

φ80用排気延長用部材

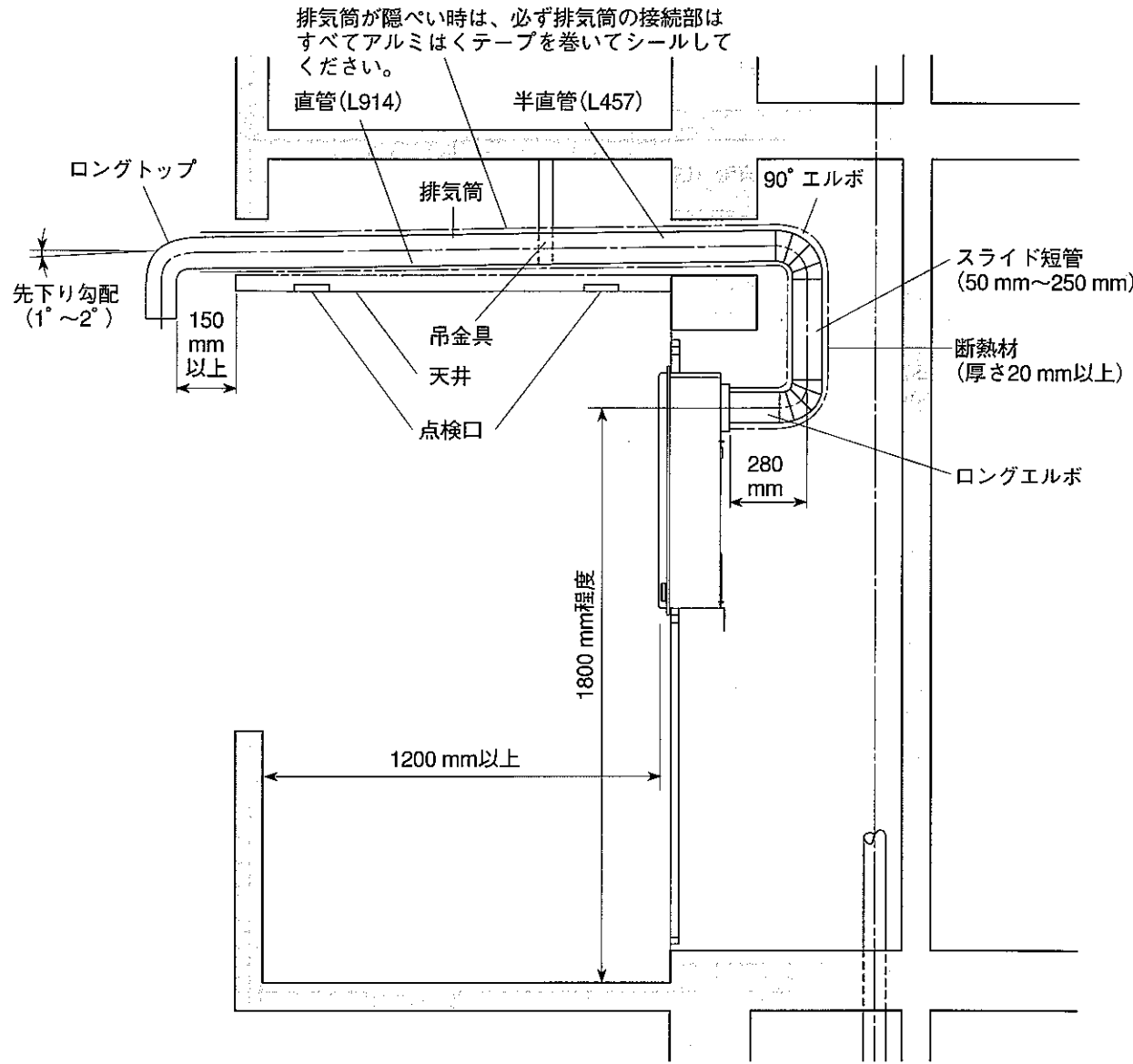
部 品 名	寸法・仕様
直 管	AD-20008S(φ914)
半 直 管	AD-20008S1(φ457)
90°エルボ	AD-20008L
メガネ板	AD-20008G
吊 り 金 具	AD-20008Z
断 熱 材	AD-T1508

システム部材センター：TEL(06)6949-2272

排気筒の設置

■排気筒設置参考図

(GZ-20B5の場合)



1. 排気筒設置工事をする場合、標準排気筒セット(システム部材センター扱いAD-2300・0)を使用してください。
2. 排気延長は7 m 3曲がりまでとしてください。排気延長の場合下記排気延長用部材(システム部材センター扱い)を使用してください。

AD-2300・0

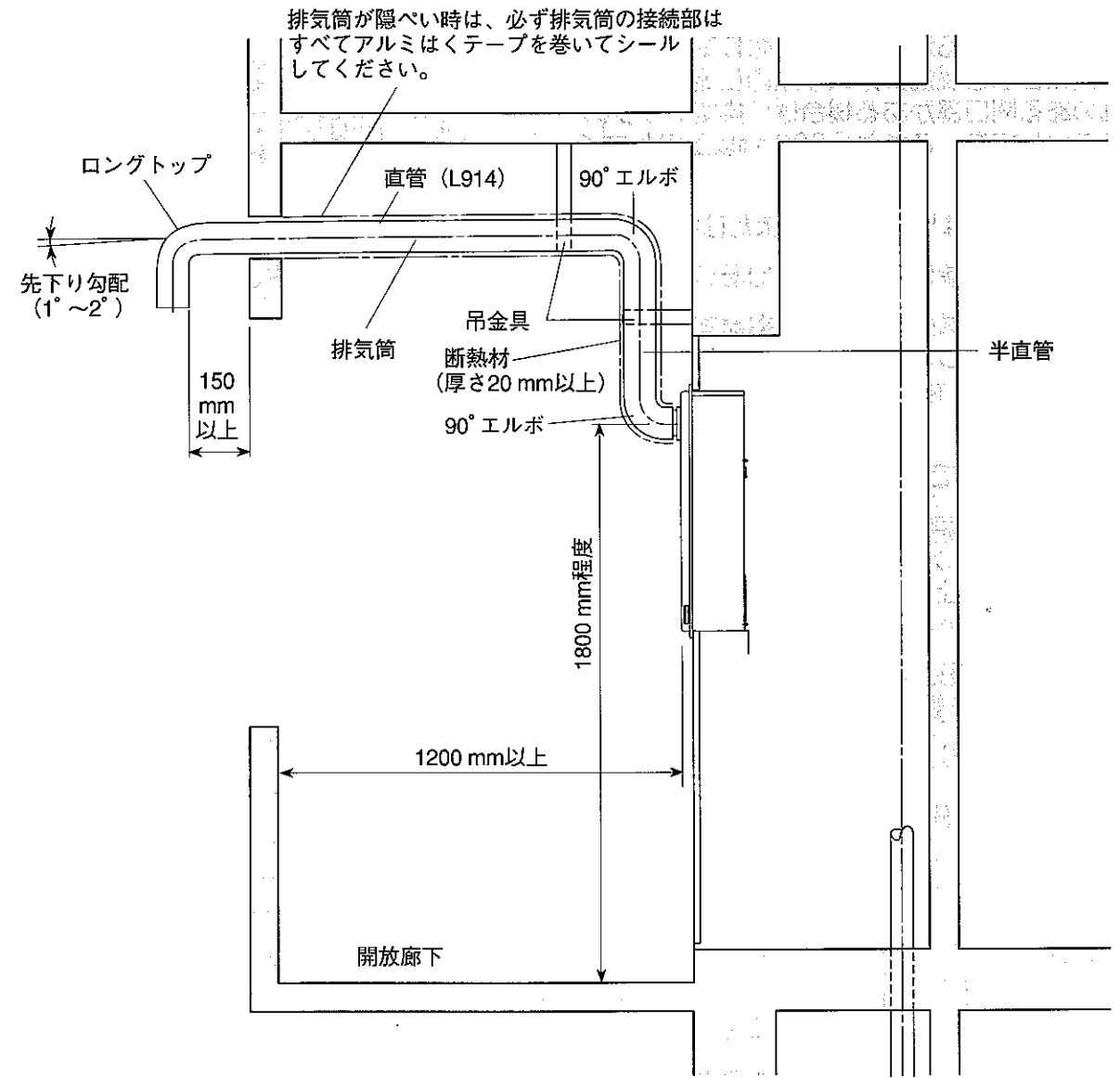
No.	部 品 名	寸法・仕様	個数
1	排気口ロングトップ(断熱材付き)	φ100×500×145	1
2	ロングエルボ	φ100×275×210	1
3	90°エルボ	φ100×170×170	1
4	直管	φ100×914	1
5	半直管	φ100×457	1
6	短管	φ100×300	1
7	メガネ板(断熱材付き)	φ100×φ180	1組
8	吊り金具	φ330~600	1
9	アルミはくテープ	幅50×180	6枚

φ100用排気延長用部材

部 品 名	寸法・仕様
直管	AD-2301S(φ914)
半直管	AD-2301S1(φ457)
90°エルボ	AD-2301L
メガネ板	AD-2301G
吊り金具	AD-2310Z
断熱材	AD-1510
短管	AD-2310SS

システム部材センター：TEL(06)6949-2272

(GZ-20C5の場合)



1. 排気筒設置工事をする場合、標準排気筒セット(システム部材センター扱いAD-2300・0)を使用してください。
2. 排気延長は7 m 3曲がりまでとしてください。排気延長の場合下記排気延長用部材(システム部材センター扱い)を使用してください。

AD-2300・0

No.	部 品 名	寸法・仕様	個数
1	排気口ロングトップ(断熱材付き)	φ100×500×145	1
2	ロングエルボ	φ100×275×210	1
3	90°エルボ	φ100×170×170	1
4	直管	φ100×914	1
5	半直管	φ100×457	1
6	短管	φ100×300	1
7	メガネ板(断熱材付き)	φ100×φ180	1組
8	吊り金具	φ330~600	1
9	アルミはくテープ	幅50×180	6枚

φ100用排気延長用部材

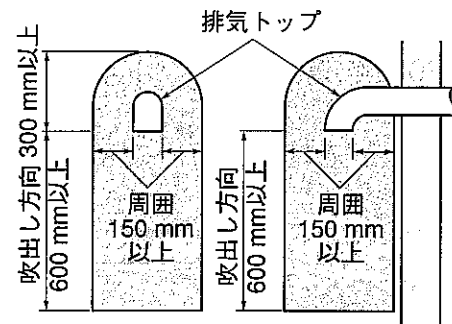
部 品 名	寸法・仕様
直管	AD-2301S(φ914)
半直管	AD-2301S1(φ457)
90°エルボ	AD-2301L
メガネ板	AD-2301G
吊り金具	AD-2310Z
断熱材	AD-1510
短管	AD-2310SS

システム部材センター：TEL(06)6949-2272

排気筒の設置

3. 排気トップの周辺について

- ① 排気トップの周囲150 mm、吹き出し方向600 mmの範囲内に可燃物がないこと。可燃物がある場合、可燃物を防火構造としてください。
- ② 前記①に定める範囲の壁面上の投影面内に窓や換気口など燃焼排ガスが屋内に流入する恐れのある開口部がある場合は、排気トップの吹き出し口を、これから600 mm以上離してください。

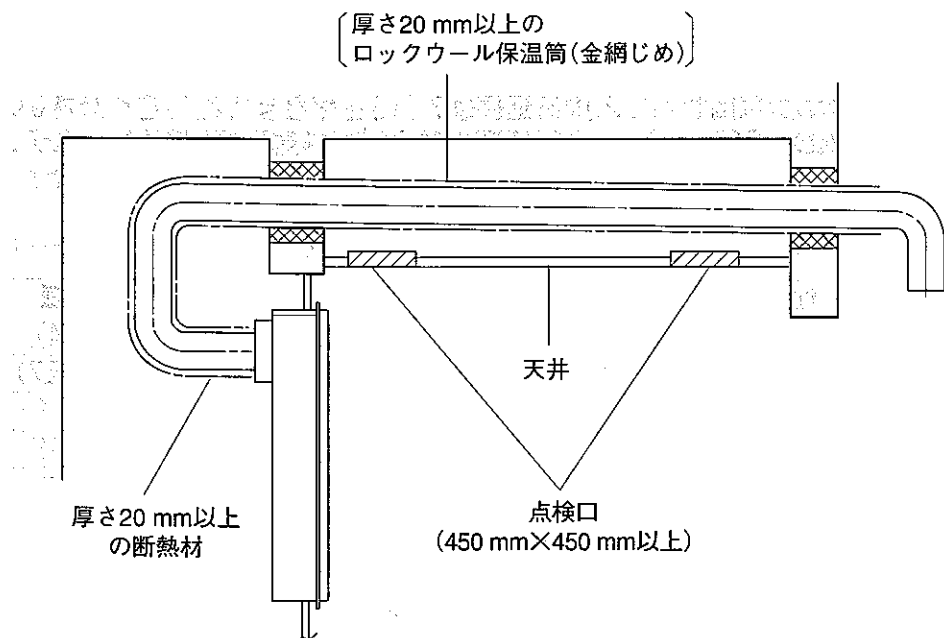
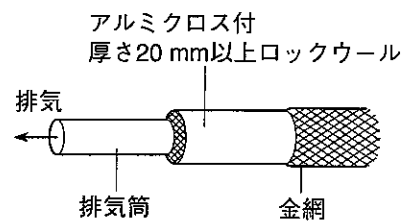
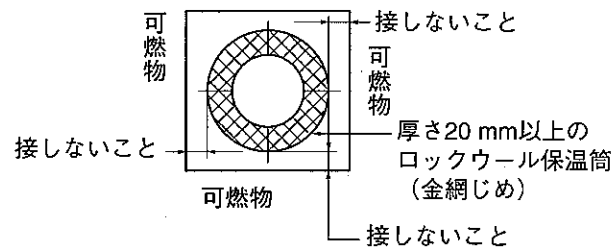


- 4. 排気筒の接続はリベット止めまたはねじ止めしてアルミはくテープで完全にシールしてください。
- 5. 排気筒は、先端に向けて下り勾配(1~2°)になるように設置してください。
- 6. 機器本体と排気筒の接続は、機器本体排気筒接続口にある穴を利用してM4ねじ1本(本体同梱)でねじ止めをし、その上からアルミはくテープで完全にシールしてください。さらに厚さ20 mm以上の断熱材を排気筒に巻いてください。

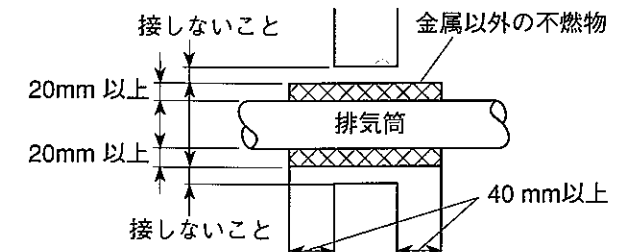
■ 隠ぺい空間に排気筒を通す場合

- 点検口の設置場所は、隠ぺい空間への飛び込み口近くと外壁より屋外への出入り近くの2カ所以上としてください。その大きさは450 mm角以上としてください。
- 間仕切り壁を貫通する場合は、その壁の近くに点検口を設けてください。
- 必ず排気筒に20 mm以上の断熱材を巻いてください。

排気筒と可燃物との離隔距離



排気筒と貫通部

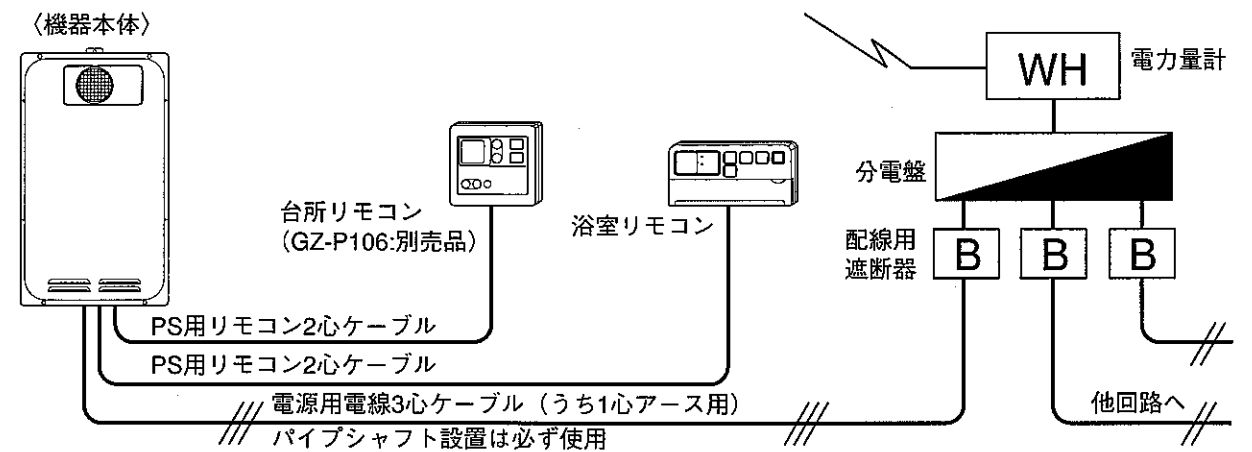


【お願い】

- ① 排気筒には、ガス機器用の排気筒トップを使用してください。
- ② 排気筒には、防火ダンパーなどは取り付けしないでください。
- ③ 排気筒は、屋内に設置しないでください。

電気配線工事

■ 標準工事



- 使用ケーブルについては別添付の工事説明書を参照してください。
- この機器にはAC100 V電源が必要です。またアース(接地)も必要ですので、関連法規を遵守して下記の通り施工してください。電気配線については、電力会社の指定工事店にご相談ください。
- ケーブル線は機器本体に押し込まないでください。

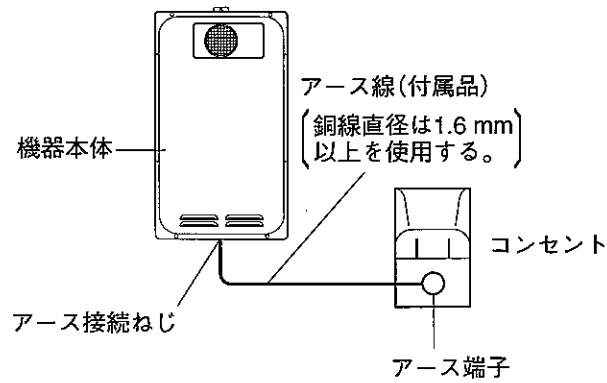
■ アース(接地)工事

万一の感電事故防止のため、次のいずれかの方法で必ずアースしてください。

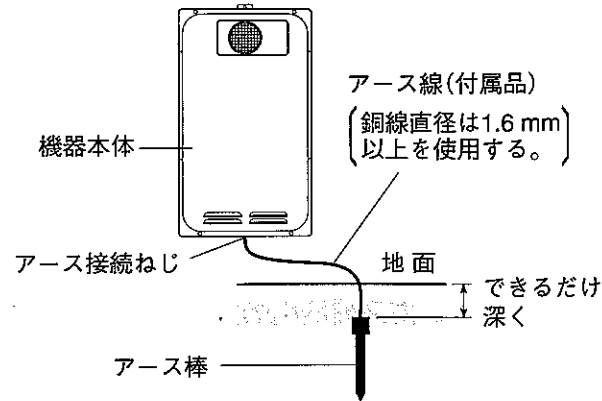
電気配線工事

分電盤内のアース端子へアース線を接続してください。(3心ケーブルの緑線使用)

●コンセントにアース端子が付いている場合



●アース棒を使用される場合



電気設備技術に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行なってください。

- 機器本体の底面に「アース」表示、また本体内部には、漏電ブレーカ固定板に「アース」表示で接続端子部を示してありますので、工事に合わせていずれかをご利用ください。
※GZ-16D5・20D5は、13ページ記載のアース端子部に接続してください。

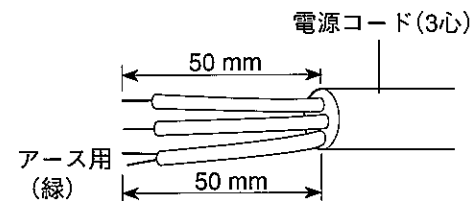
【お願い】

- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路または漏電しゃ断器を入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。(法令などで禁止されています。)
- アース端子付コンセントを利用される場合には、接地抵抗値(100 Ω以下)をご確認ください。

■電源接続工事 (3心ケーブルの場合)

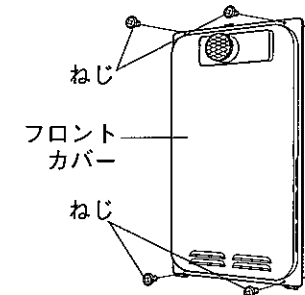
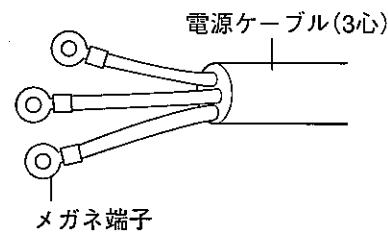
PS用電源ケーブルGW-P38-30(別売品)3心をご使用ください。

- ①電源ケーブルを下図のように絶縁被覆をはぎとり、心線を出してください。



- ②メガネ端子をかしめ、端子台およびアースに固定してください。

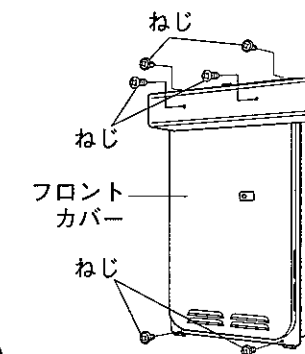
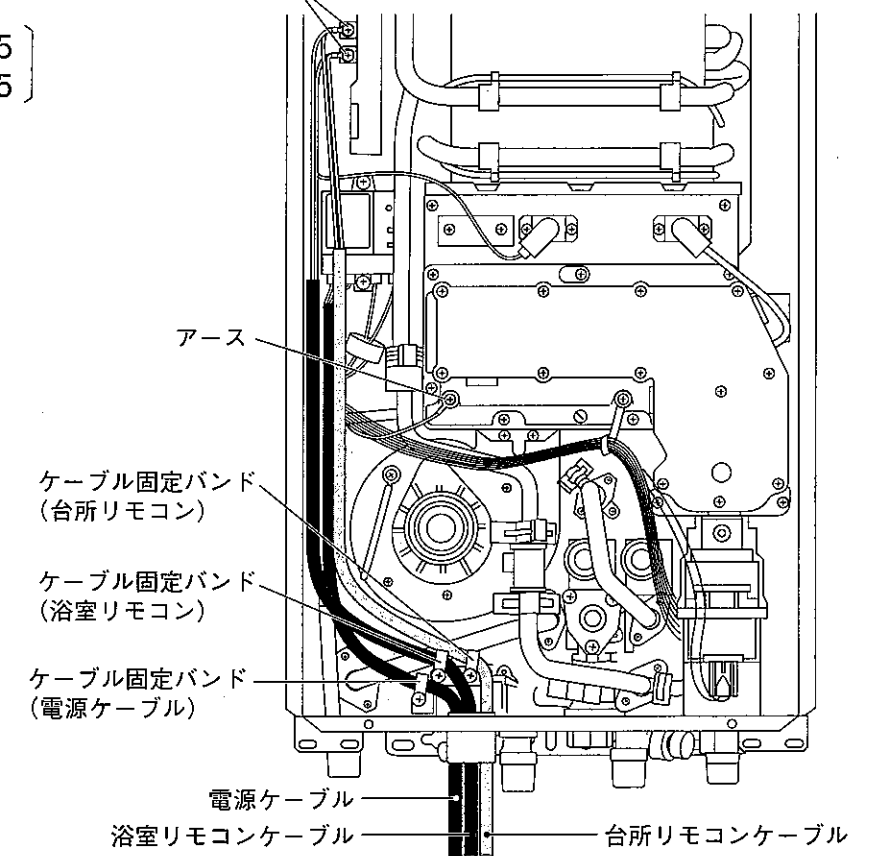
※2心ケーブルの場合はアース線(付属品)またはアース棒にて、アース工事を行なってください。



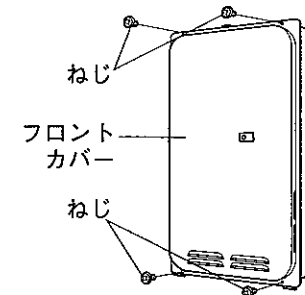
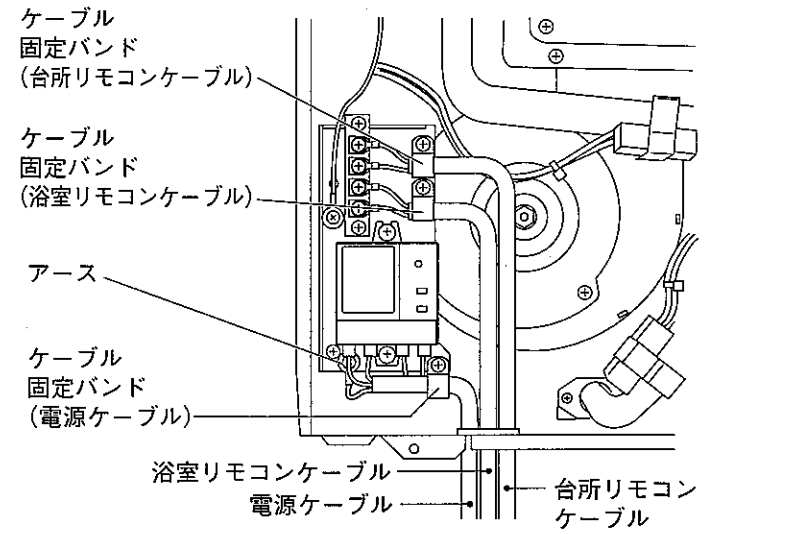
GZ-16D5
GZ-20D5

※浴室リモコンケーブル用のケーブル固定バンド・固定ねじは浴室リモコンに同梱しています。

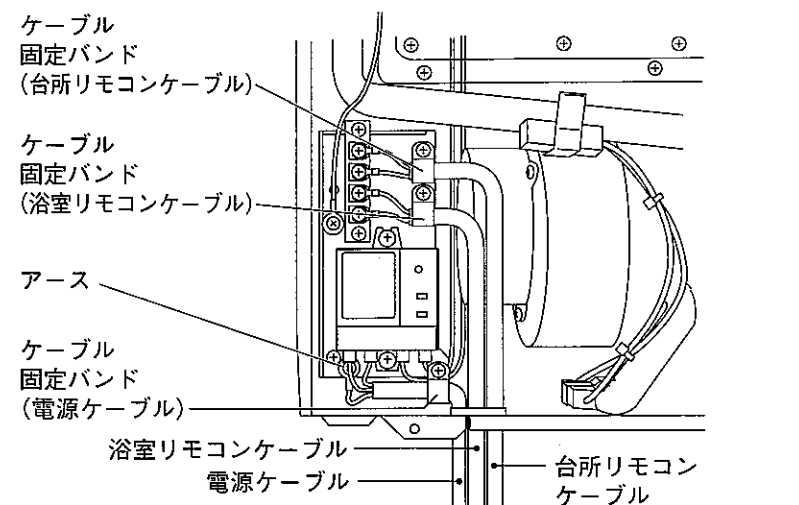
リモコンケーブル端子(無極性)



GZ-16A5
GZ-16B5
GZ-16C5



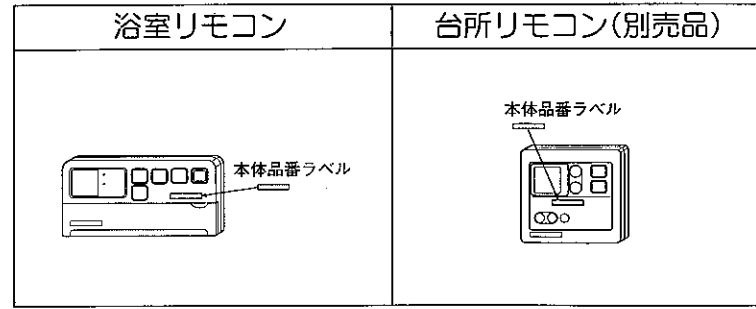
GZ-20A5
GZ-20B5
GZ-20C5



試点火および試運転

■本体品番ラベルの貼付け

ご使用のリモコンに本体品番ラベルを右図の位置に貼り付けてください。

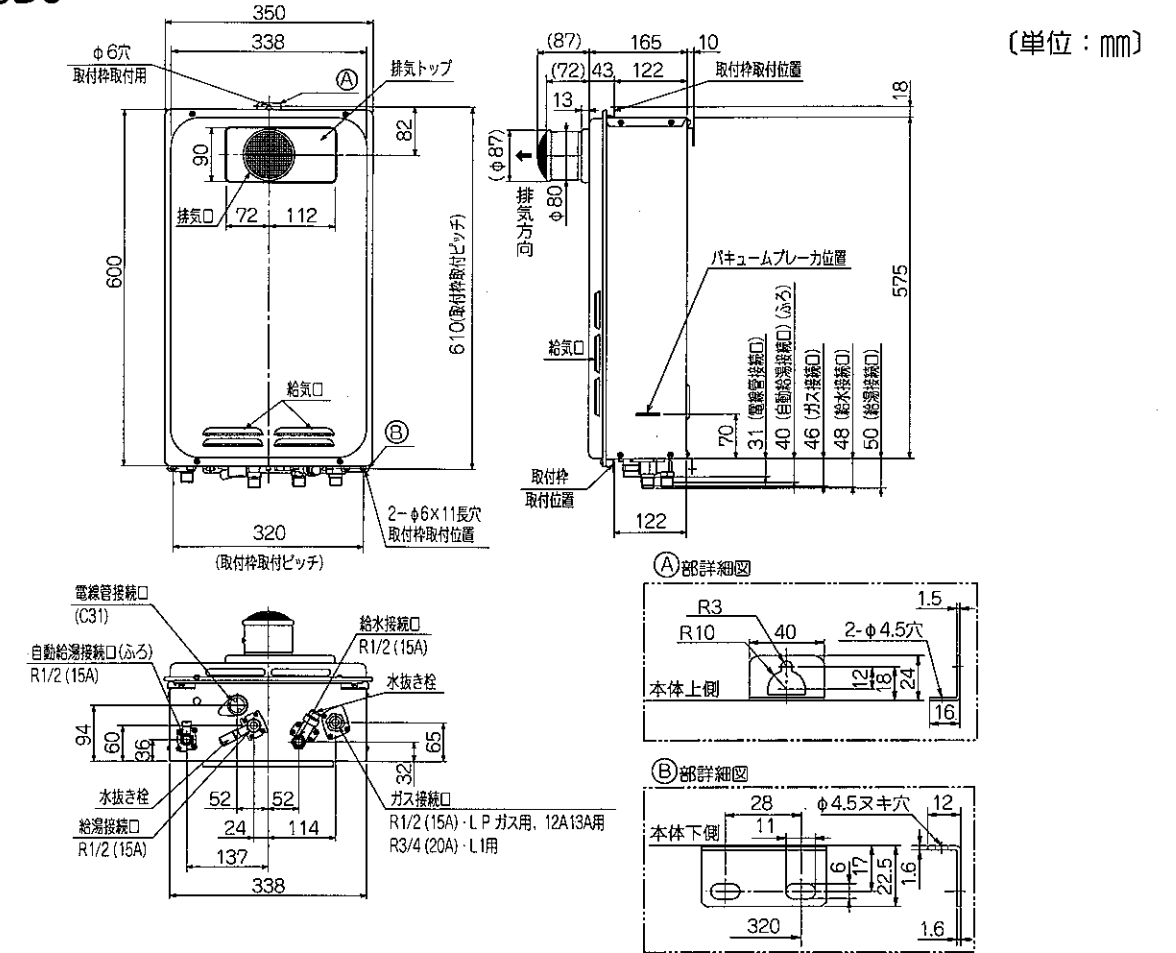


■試点火および試運転

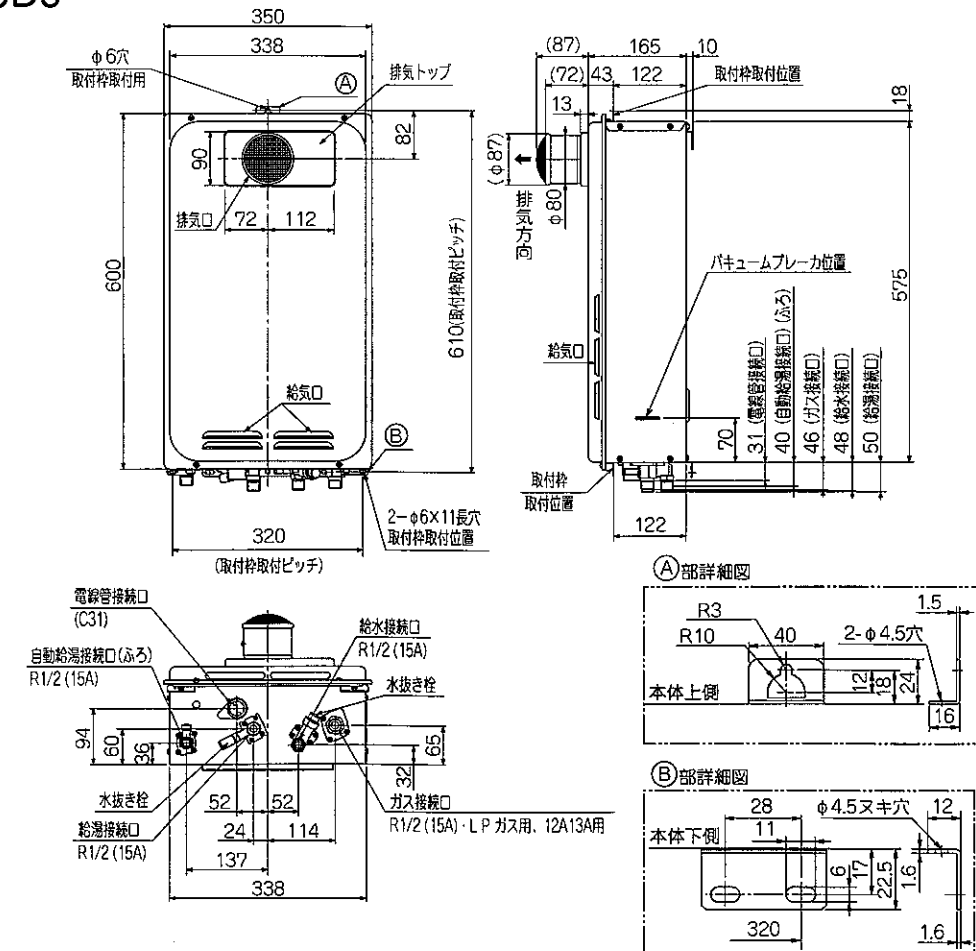
- ①ガス配管中の空気抜き
ガス配管中の空気が抜けるまで火が付きません。給湯栓を「5秒間開く」「3秒間閉じる」操作をバーナーに火がつくまで繰り返してください。
- ②取扱説明書に基づき、試点火および試運転を行ってください。(詳しくは、取扱説明書の「初めてお使いになるとき」「使いかた」をお読みください。)
- ③初期運転時に異常が発生しましたら、取扱説明書の「故障かな?」を参照しながら確かめてください。
- ④試運転が終わりましたら、凍結予防のため、水抜きを必ず行ってください。水抜きを忘れた場合は機器が破損することがあります。
- ⑤水ストレーナの掃除
試運転が終わりましたら、給水接続口にある水抜き栓を取り外し、ストレーナの掃除を行ってください。(取扱説明書参照)
- ⑥初期運転時、フロントカバーを外して点火させた場合、着火音・燃焼音が大きくなる場合がありますが異常ではありません。
- ⑦お客様への説明
(1)取扱説明書に従って、お客様へ取扱方法をご説明ください。特に「安全上のご注意」「使いかた」をよくお読みになりご説明ください。
(2)保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。また取扱説明書に従って「アフターサービス」についてご説明ください。
- ⑧冬期にご使用の場合
寒い日には機器の排気口より白い湯気が出ることがありますが、これは機器が高効率のためであり異常ではありません。

外形寸法図

■GZ-16D5

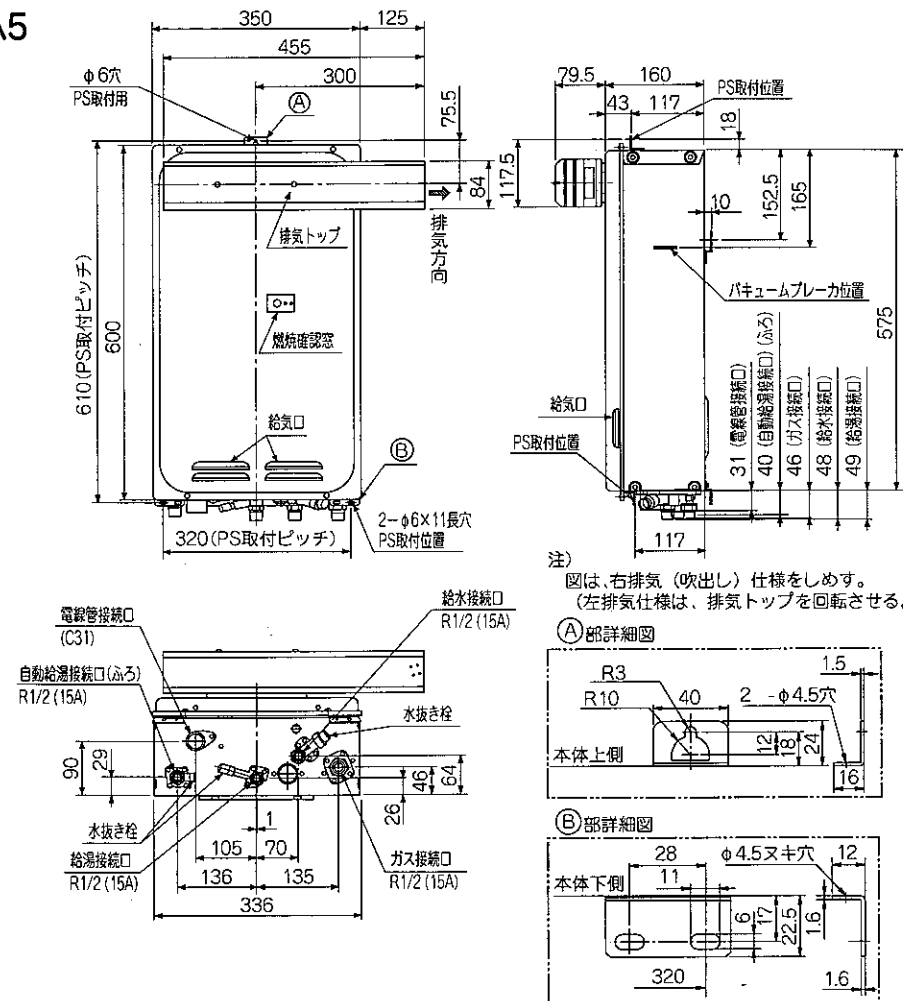


■GZ-20D5



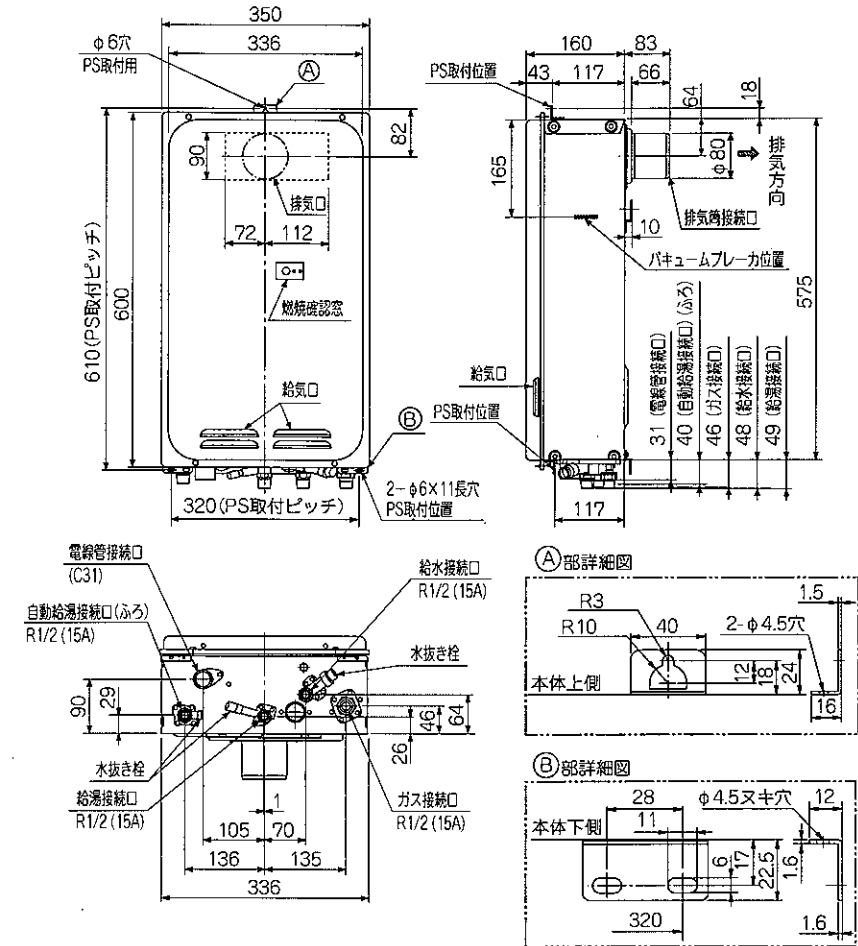
外形寸法図

■GZ-16A5



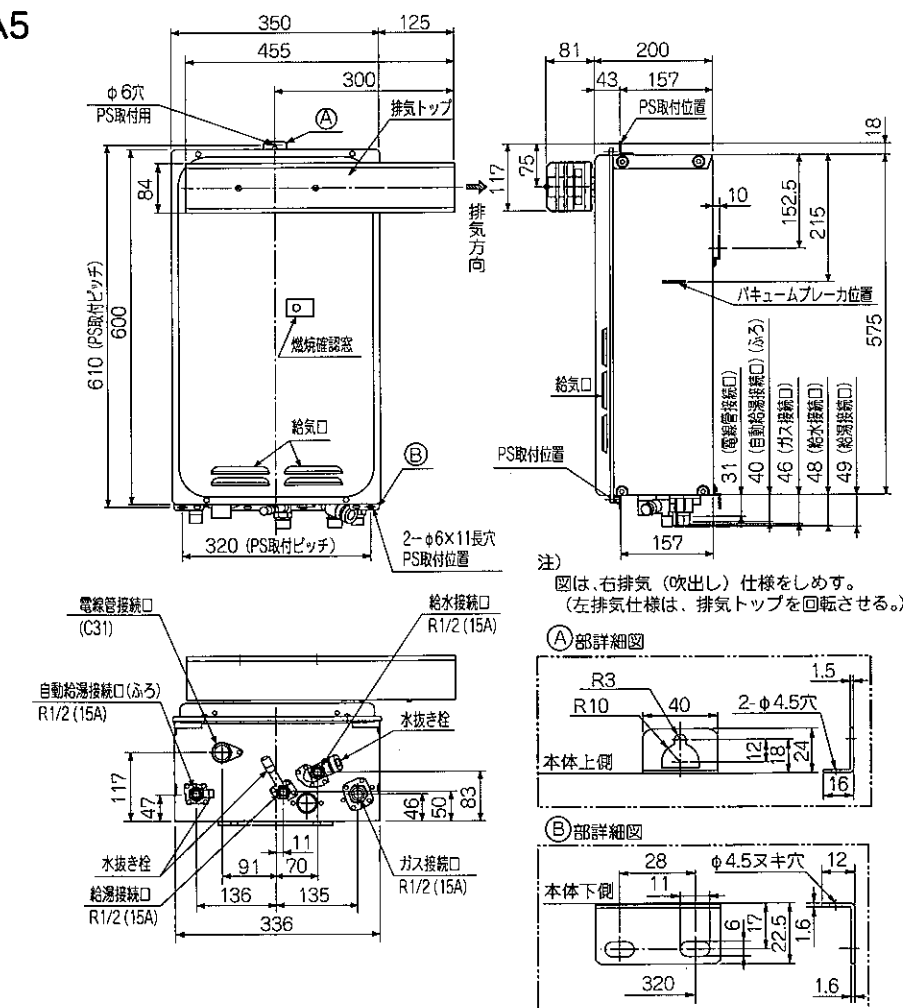
[単位: mm]

■GZ-16B5

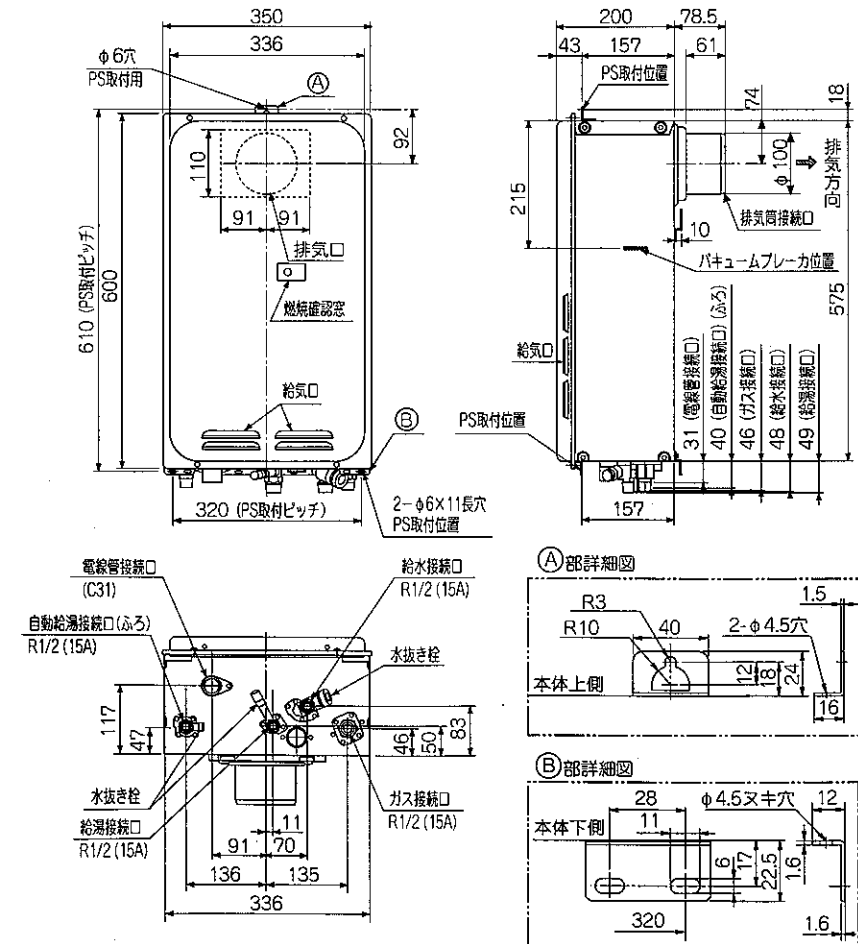


[単位: mm]

■GZ-20A5

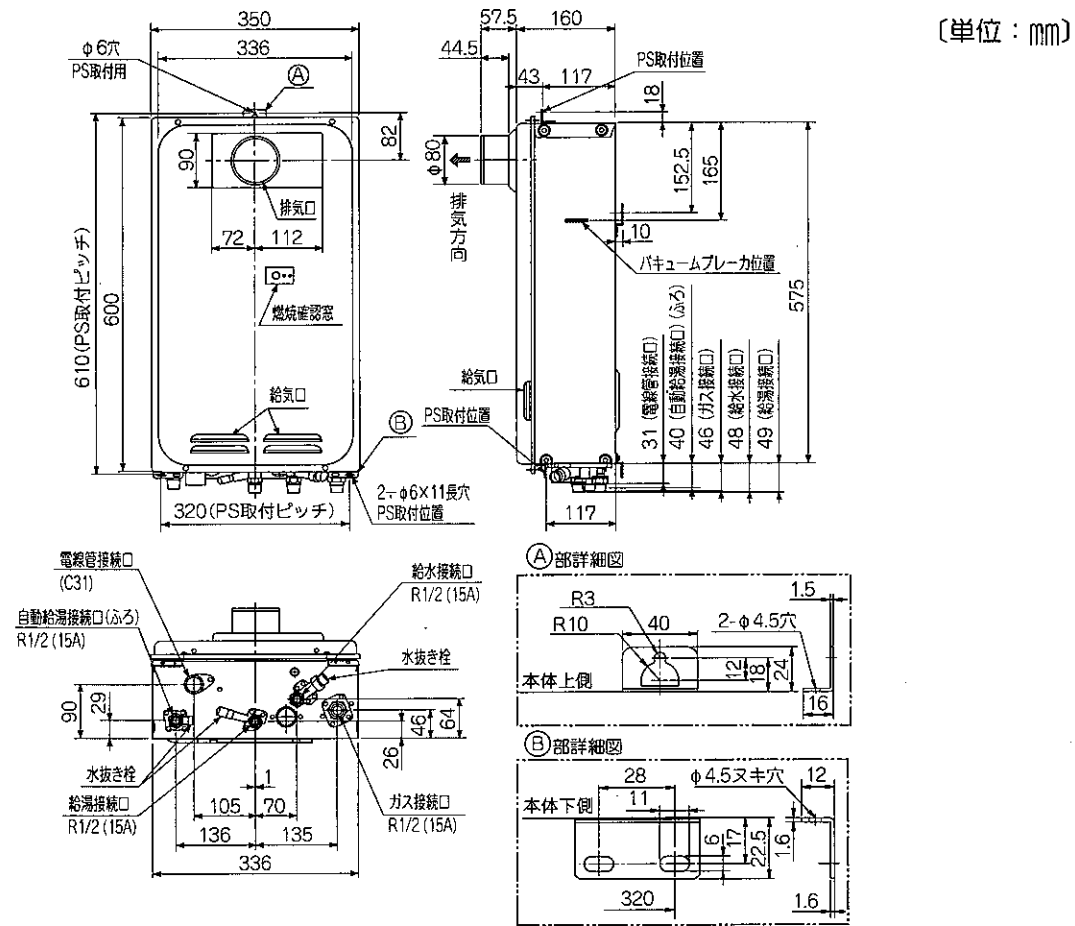


■GZ-20B5

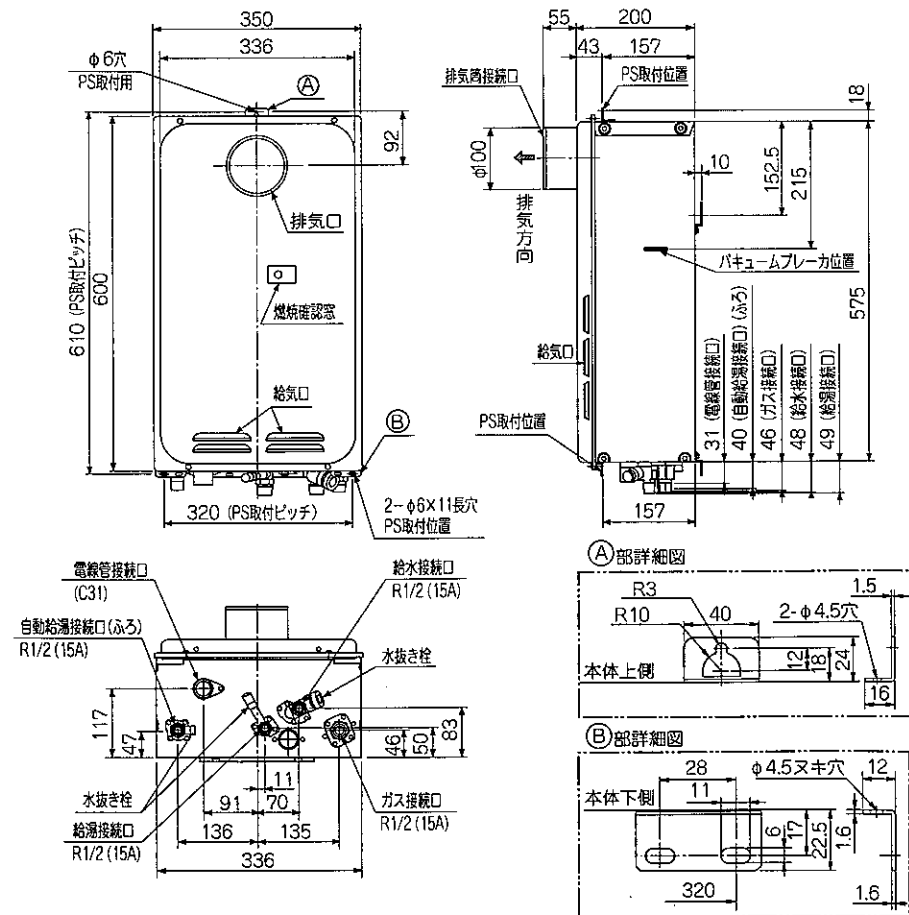


外形寸法図

■GZ-16C5



■GZ-20C5



メ モ 欄